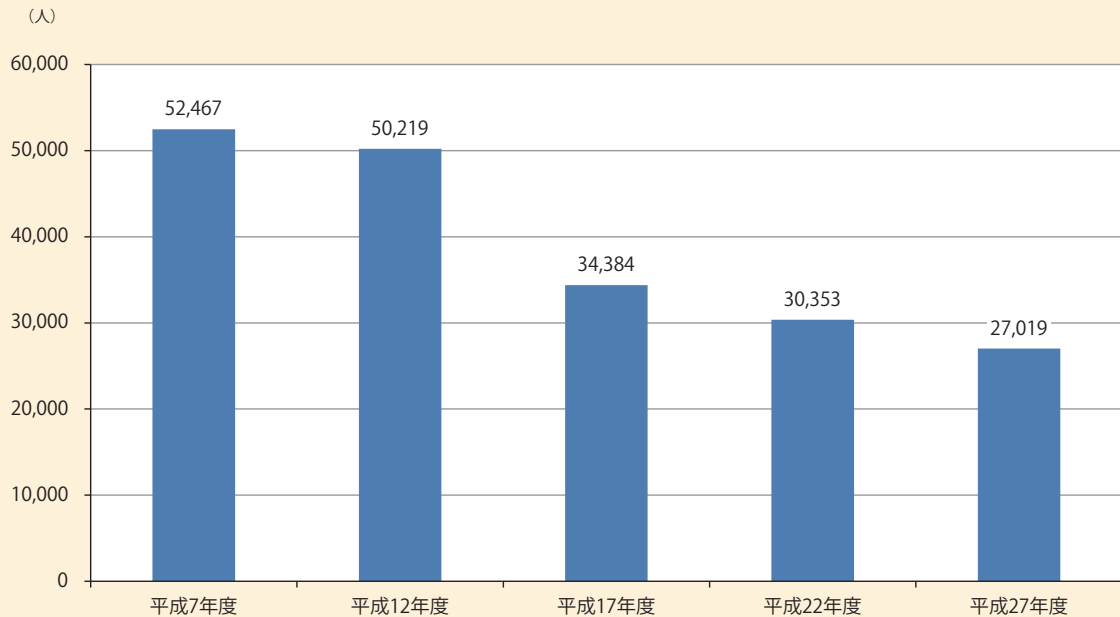


3 ▶ 就業者の脳血管疾患、心疾患等の発生状況

我が国の就業者の脳血管疾患、心疾患（高血圧性を除く。）、大動脈瘤及び解離（以下、「脳血管疾患、心疾患等」という。）による死亡数は、5年ごとに実施される人口動態職業・産業別統計によれば、減少傾向で推移しており、平成27年度は27,019人となっている（第3-1図）。

第3-1図 就業者の脳血管疾患、心疾患等による死亡数



（資料出所）厚生労働省「人口動態職業・産業別統計」

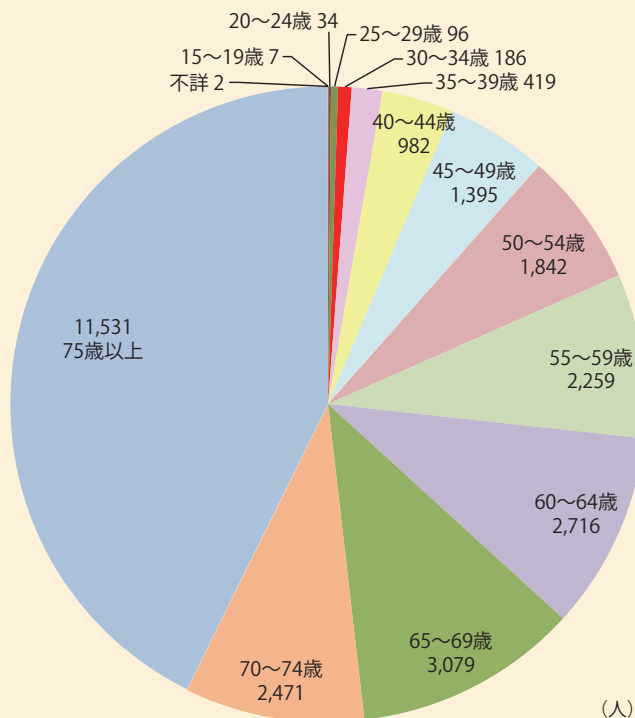
（注）脳血管疾患、心疾患（高血圧性を除く。）、大動脈瘤及び解離による死亡数総数のうち、就業者を合計したもの

年齢別にみると、60歳以上が全体の7割を占めており、高齢者に多い（第3-2図）。

産業別には、「農業、林業」、「製造業」、「卸売業、小売業」、「建設業」、「サービス業（他に分類されないもの）」の順に多くなっている（ただし、「産業不詳」を除く。）（第3-3図）。

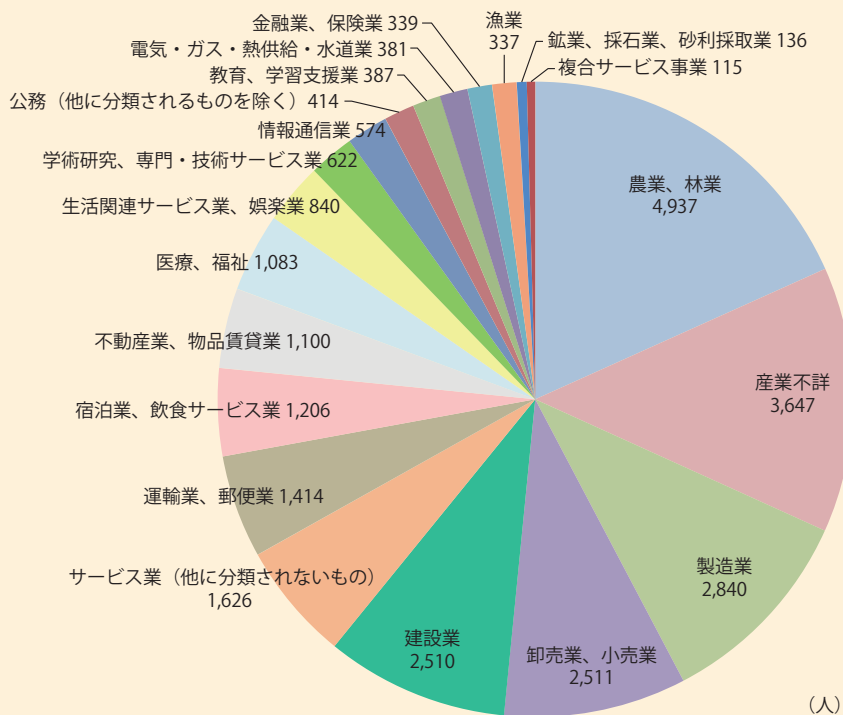
職種別には、「農林漁業従事者」、「サービス職業従事者」、「専門的・技術的職業従事者」、「販売従事者」、「管理的職業従事者」の順に多くなっている（ただし、「職業不詳」を除く。）（第3-4図）。

第3-2図 就業者の脳血管疾患、心疾患等による死亡数（平成27年度 年齢別）



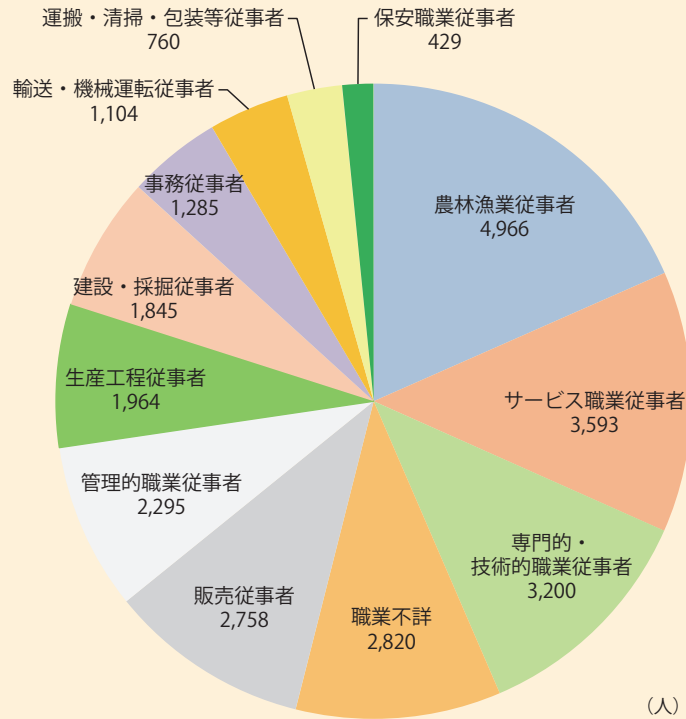
(資料出所) 厚生労働省「人口動態職業・産業別統計」
 (注) 脳血管疾患、心疾患（高血圧性を除く）、大動脈瘤及び解離による就業者の死亡数を年齢別に分類

第3-3図 就業者の脳血管疾患、心疾患等による死亡数（平成27年度 産業別）



(資料出所) 厚生労働省「人口動態職業・産業別統計」
 (注) 脳血管疾患、心疾患（高血圧性を除く）、大動脈瘤及び解離による就業者の死亡数を産業別に分類

第3-4図 就業者の脳血管疾患、心疾患等による死亡数（平成27年度 職種別）



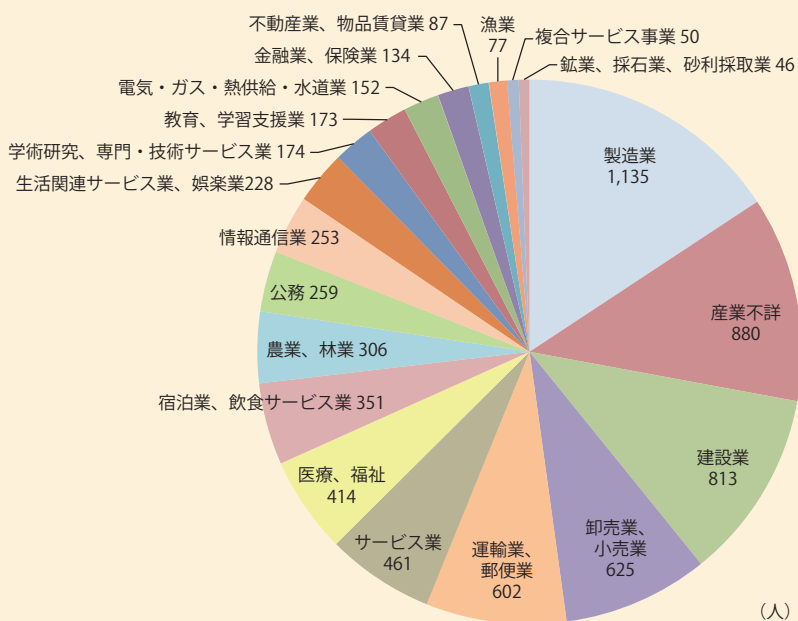
（資料出所）厚生労働省「人口動態職業・産業別統計」

（注）脳血管疾患、心疾患（高血圧性を除く）、大動脈瘤及び解離による就業者の死亡数を職種別に分類

就業者の脳血管疾患、心疾患等による死亡数は高齢者に多いことから、それぞれの産業、職種の年齢構成が、産業別、職種別の死亡数の構成割合に影響を及ぼしている可能性が考えられる。このため、60歳未満の就業者について、産業別の死亡数をみると、「製造業」、「建設業」、「卸売業、小売業」の順に多くなっている（ただし、「産業不詳」を除く。）（第3-5図）。同様に、60歳未満の就業者について、職種別の死亡数をみると、「専門的・技術的職業従事者」、「サービス職業従事者」、「生産工程従事者」の順に多くなっている（第3-6図）。

第3-5図

60歳未満の就業者の脳血管疾患、心疾患等による死亡数（平成27年度産業別）

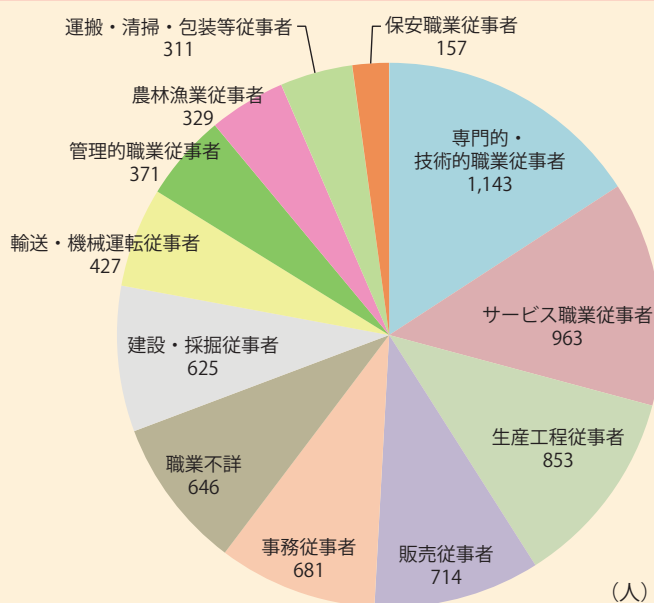


(資料出所) 厚生労働省「人口動態職業・産業別統計」

(注) 脳血管疾患、心疾患（高血圧性を除く。）、大動脈瘤及び解離による60歳未満の就業者の死亡数を産業別に分類

第3-6図

60歳未満の就業者の脳血管疾患、心疾患等による死亡数（平成22年度職種別）



(資料出所) 厚生労働省「人口動態職業・産業別統計」

(注) 脳血管疾患、心疾患（高血圧性を除く。）、大動脈瘤及び解離による60歳未満の就業者の死亡数を職種別に分類